

2020.11.23

名大郷土研究会 OB 会 明智城踏査会のレポート

西川

- 日時 11月21日(土) 名鉄明智駅集合
- 参加者 柴田さん、近藤さん、加藤さんご夫妻、西川
- 踏査会コース 光秀産湯に井戸→天竜寺、東栄寺及び太元神社→明智城跡→六親眷属幽魂塔(ロクシンケンソクユウコンドウ) ->大河ドラマ館

懇親会 名駅 旬蔵

秋晴れの日、コロナ架の中、参加者5名と少々さみしい踏査会でしたが、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の舞台となった明智光秀ゆかりの地明智城跡を訪ねました。出発地の名鉄明智駅を出発。まもなく光秀産湯の井戸の看板がある。実際の井戸は向かい側の水田の中にあっただが耕地整理でなくなりここに説明看板を設置したとのこと。



しばらく歩くと東栄寺、太元神社、天竜寺に到着。天竜寺は明智一族の菩提寺で、184センチの大きな光秀公の位牌と木像の光秀像が祀られている。参拝者駐車場には明智氏歴代の墓があった。



しばらく進むと明智城大手口が見えてくる。

大手口を登っていくと本丸へと続くところに七つ塚があった。
戦いに敗れた武将の塚で7つある。





本丸跡に最近光秀公の像が完成。その前で記念撮影。

明智城は康永元年(1342)に土岐頼清の次男頼兼が瀬田村に明智城を築城。その後 215 年にわたり居城するが、弘治 2 年(1556)に斎藤義龍に攻められ落城、光秀は西濃の親族を頼り落ち延びた。

本丸から明智坂を降りる途中に六親眷属幽魂塔があった。昭和 48 年明智城跡発掘調査の折、地中から人骨及び武具が発見された。おそらく明智城落城時に戦死者の霊魂を鎮めるための石仏らしい。最後に大河ドラマ館を見学して踏査会を終了。





名鉄新可児駅から名古屋駅に戻り、懇親会会場旬蔵で懇親。
三密を気にしながら楽しく懇談。
懇談中はマスク越しに会話を楽しみました。



以上